

没後四五〇年、史料から語る毛利元就の横顔

毛利元就 (1497～1571)

安芸国衆毛利弘元の次男として誕生。当主となった兄興元とその子幸松丸が相次いで死去したため、毛利家の家督を相続。周防大内氏との関係を背景に郡山城を本拠として勢力を拡大。巧みな外交と調略を駆使して大内氏を滅ぼし戦国大名化を果たし、さらに出雲尼子氏を降伏させて西日本最大の勢力となった。一方で一族の結束に傾注し、3人の子にしたためた「三子教訓状」が知られる。戦国武将の中でも、特に多くの書状が『毛利家文書』などに残されており、研究が進められている。

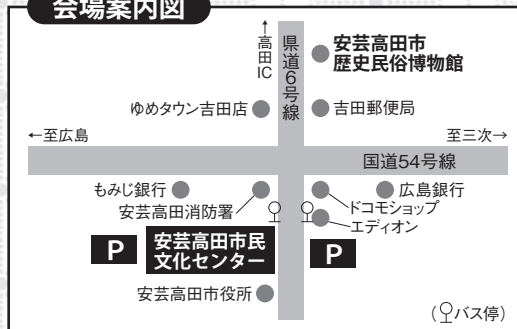
毛利元就略年表

明応6年(1497):毛利弘元の次男として誕生
永正8年(1511):元服し、元就と名乗る
大永3年(1523):家督を相続し、郡山入城
天文9年(1540):出雲尼子氏、吉田に侵攻(郡山合戦)
天文15年(1546):長男隆元に家督を譲与
弘治元年(1555):厳島合戦にて、陶氏に勝利
弘治3年(1557):大内氏を滅ぼし周防・長門を平定
永祿6年(1563):隆元急逝、元就が孫輝元を後見
永祿9年(1566):尼子氏降伏、中国全域を支配下に
元龜2年(1571):郡山城にて死去(75歳)

スケジュール

- 12:00 開場
- 13:00 開会
- 13:10～
 - ・パネリスト紹介
 - ・パネリストによるプレゼンテーション
- 14:20 [休憩]
- 14:30～
 - ・パネルディスカッション
- 16:00 閉会予定 (※時間は目安です)

会場案内図



パネリスト 秋山 伸隆

(県立広島大学名誉教授)

鳥取県生まれ。
専門は日本中世史、特に戦国大名毛利氏の研究。著書に『戦国大名毛利氏の研究』(吉川弘文館)など。



パネリスト 柴原 直樹

(毛利博物館館長)

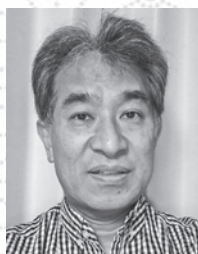
福山市生まれ。
専門は日本中世史、特に戦国大名毛利氏と備後国人領主の研究。著書に『元就の手紙』(毛利博物館)など。



パネリスト 木村 信幸

(広島県立歴史博物館学芸課長)

広島市生まれ。
専門は日本中世史、特に安芸吉川氏の研究。論文「戦国後期における吉川氏の権力構成—親類衆・奉行人を中心にして—」『吉川広家』(戎光祥)など。



パネリスト 和田 秀作

(山口県文書館専門研究員)

山口県生まれ。
専門は日本中世史、特に戦国大名大内氏の研究。論文「大内氏の領国支配組織と人材登用」『室町戦国日本の覇者 大内氏の世界をさぐる』(勉誠出版)など。



【毛利元就史跡ウォーク】

◆第1弾 吉田・相合編

- ・期日: 11月7日(日)午後1時～4時30分
- ・定員: 25人(要申込、無料)
- ・見学地: 船山城跡、船山神社、宮崎神社、伝相合四郎墓他
- ・案内: 秋本哲治(安芸高田市教育委員会)
- ・集合場所: 安芸高田市歴史民俗博物館

★元就最大の謎、元綱事件の関連史跡を中心に巡ります

◆第2弾 多治比編

- ・期日: 11月28日(日)午後1時～4時30分
- ・定員: 25人(要申込、無料)
- ・見学地: 多治比猿掛城(物見丸コース)、毛利弘元墓所、伝大方殿墓所他
- ・案内: 秋本哲治(安芸高田市教育委員会)
- ・集合場所: 旧丹比西小学校跡グラウンド(駐車可)

★青年期の元就の本拠、多治比猿掛城の最頂部へご案内します

☆史跡ウォーク申込み: 10月16日(土)より受付開始!
安芸高田市歴史民俗博物館まで(※電話・窓口のみ、先着順)

※少雨決行
(コース変更あり)

同時開催

毛利元就没後450年記念特別展 毛利元就「名将」の横顔

【会期】令和3年10/23(土)～12/5(日) 【開館時間】9時から17時(11/20(土)は17時30分まで開館)
【休館日】月曜日、11/4(木)、11/24(水)
【場所】安芸高田市歴史民俗博物館(広島県安芸高田市吉田町吉田278-1) 【電話】0826-42-0070

シンポ会場から
徒歩約5分!

